小学校５年　算数　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			領域別				計
	考え方	技能	知識･理解	数と計算	量と測定	図　形	数量関係	
＋10％ より高い	1	1	1	2	0	0	1	3
±10％ の範囲内	5	6	4	6	3	4	2	１５
－10％ より低い	0	1	1	1	0	0	1	2
計	6	8	6	9	3	4	4	２０

（２）考察

①　全体について

ア　基礎的・基本的な学習内容の定着が図られている。

イ　20問中18問が、設定通過率の「±10%範囲内」または「＋10%より高い」ところにあり、学習状況はおおむね良好である。

②　成果

ア　線分図から倍の関係を正しく捉え問題解決することについて、改善が図られている。

イ　合同な三角形をかくための条件の理解については、少しずつ改善されてきている。

③　課題

ア　倍の関係を捉え、除法の演算で解決できる場面を選択することに課題が見られる。

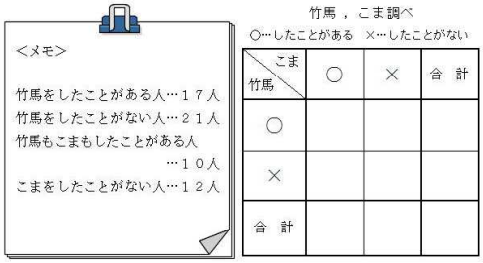
イ　情報を二次元表に分類整理し、問題解決することに課題が見られる。

ウ　表から関数関係を見いだし、数学的に表現することに課題が見られる。

（３）今後の指導

ア　二次元表の理解を深めるとともに、二次元表を活用する学習活動の充実を図る。

次のメモは，とおるさんのクラスで竹馬とこまについて，したことがあるかないかを調べた結果をまとめたものです。メモの内容からわかる数字を表にかきこみ，空らんがないように表を完成させましょう。（17



・二次元表に示された数の意味を表の横の項目と縦の項目に着目して説明する活動を取り入れ、二次元表の意味理解を深めることが大切である。

・次のような一連の活動を通した指導により､統計的な見方や考え方を伸ばしたい。

①目的を明確にし、それに沿った資料を子ども自らが収集する。

②資料を分類整理し、二次元表を用いて表し、資料の特徴や傾向を読み取る。

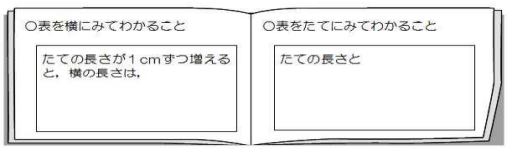
③事柄を判断したり予測したりするために二次元表を活用し、その思考過程や結果を表現したり、説明したりする。

イ　表から規則性を見いだす活動や、その規則性を説明する活動を重視する。

作った長方形のたてと横の長さの関係を表にまとめると，次のようになります。

たて（cm）	1	2	3	4	5	6	7	8
横　（cm）	8	7	6	5	4	3	2	1

かおるさんは，表をみて気づいたことを次のようにノートにまとめました。正しいまとめになるように，次の２つの［　　］の中につづきを書きましょう。（19



・表を横にみて、変化の規則性を見付けたり、表を縦にみて、対応の規則性を見付けたりできるように、表の見方を指導することが大切である。その際には、関係に着目した部分について表に矢印を書き込んだり、指し示したりしながら、見付けた規則性を説明し伝え合う活動を取り入れることが効果的である。

・関数の考え方については、変わり方の様子を読み取る活動を低学年から意識して取り入れるなど、様々な場面で変化や対応の規則性に着目して問題を解決する場を設定することが大切である。